

老年看護学演習

[演習] 第3学年 前期 必修 1単位

《担当者名》 内ヶ島 伸也 ucci@hoku-iryo-u.ac.jp 山田 律子 舩橋 久美子 若濱 奈々子
植木 沢美(兼任) 岡橋 智恵(衛)

【概要】

老年看護学演習は、「老年看護学」「老年病態論」で学んだ知識をふまえ、事例を使った看護過程の展開や技術演習、ディスカッションを積み重ねながら、高齢者の生活に必要なケアの考え方や支援方法を学ぶ。

【学修目標】

1. 加齢と疾病の影響による生活の障害を、事例をもとにアセスメントし、看護の方向性を導くことができる。
2. 高齢者の状態に合わせた支援方法を考え、実施できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|----------------------|---|---------------------------------|
| 1 | オリエンテーション 看護過程の展開 | 老年看護学演習の進め方と看護過程の事例を理解する | 内ヶ島、舩橋、若濱、 山田 |
| 2 | 看護過程の展開 | 情報の整理と分析の方法を理解する | 内ヶ島、舩橋、若濱、 山田 |
| 3 | 看護過程の展開 | 情報の分析から関連図作成までの方法を理解する | 内ヶ島、舩橋、若濱、 山田 |
| 4 | 看護過程の展開 | 関連図を作成する意義と方法を理解する | 内ヶ島、舩橋、若濱、 山田 |
| 5 | 看護過程の展開 | 関連図から看護計画立案までの方法を理解する | 内ヶ島、舩橋、若濱、 山田 |
| 6 | 看護過程の展開 | 看護計画の立案と評価の方法を理解する | 内ヶ島、舩橋、若濱、 山田 |
| 7 | 高齢者の生活支援 | コミュニケーションの支援 認知症をもつ高齢者とのコミュニケーションの特徴と 方法を理解する | 舩橋、内ヶ島、若濱、 山田 |
| 8 | 高齢者の生活支援 | コミュニケーションの支援 失語症をもつ高齢者とのコミュニケーションの特徴と 方法を理解する | 舩橋、内ヶ島、若濱、 山田 |
| 9 | 高齢者の生活支援 | 食事の支援 高齢者の状態をふまえた食事の支援方法を理解する | 山田、植木、岡橋、 内ヶ島、舩橋、若濱 |
| 10 | 高齢者の生活支援 | 食事の支援 高齢者の口腔ケアの方法を理解する | 植木、岡橋、山田、 内ヶ島、舩橋、若濱 |
| 11 | 高齢者の生活支援 | 排泄の支援 高齢者の状態をふまえた排泄の支援方法を理解する | 土屋隼人(特別講師)、 内ヶ島、舩橋、若濱、 山田 |
| 12 | 高齢者の生活支援 | 排泄の支援 おむつ体験を通して高齢者の排泄支援を考察する | 土屋隼人(特別講師)、 内ヶ島、舩橋、若濱、 山田 |
| 13 | 高齢者の生活支援 | 高齢者の生活史をふまえた支援 高齢者の生活史を聞き、人生や老いの理解を深める 生活史に基づく個別性のある支援の重要性を理解する | 内ヶ島、舩橋、若濱、 山田 |
| 14 | 高齢者の生活支援 | 活動の支援 高齢者の状態をふまえた活動の支援方法を理解する | 若濱、内ヶ島、舩橋、 山田 |
| 15 | まとめ | 老年看護における看護過程のポイントを整理する 高齢者の生活支援で重要な考え方を整理する | 内ヶ島、舩橋、若濱、 山田 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ワークシート90%、レポート10%

【教科書】

山田律子・内ヶ島伸也(編)「生活機能からみた老年看護過程」第4版 医学書院, 2020.
北川公子他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第9版 医学書院, 2018.

【備考】

1. 開講日が変則であるため、演習の具体的な運営に関しては、配付される日程表等を参照すること。
2. 各単元のワークシートとレポートは、教員の指示にしたがって実施し提出すること。
3. 授業時間中にGoogle Formsを活用して、学生相互の意見交換や理解度の確認を行う。

【学修の準備】

1. 「老年看護学」と「老年病態論」の資料を復習しておき、各単元に関連する資料を持参すること。
2. 看護過程の展開は、事前にワークシートを作成して演習に臨むこと。
3. 高齢者の生活支援における体験型学修では、事前に課された課題を実施して演習に臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2, 3, 4

【実務経験】

内ヶ島伸也(看護師)、船橋久美子(老人看護専門看護師)、若濱奈々子(看護師)、山田律子(看護師、日本摂食嚥下リハビリテーション認定士)、植木沢美(歯科衛生士)、岡橋智恵(歯科衛生士)、土屋隼人(皮膚・排泄ケア認定看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

高齢者看護の実務経験に基づき、臨地実習に必要な最新かつ実践的知識・技術を教育する。とくに、「食事の支援(口腔ケア)」は歯科衛生士が、「排泄の支援」は皮膚・排泄ケア認定看護師がそれぞれ講義を担当し、実践的な教育を行う。